

会員の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本事業にひとかたならぬ御厚誼を賜りありがとうございます。

高校入試の季節となりました。今年の入学選抜からPC採点が導入され各学校とも緊張が続いていることかと思えます。

今年度も工業高校生徒の手による「第10回生徒研究発表会」を開催致しました。年度当初に「動画撮影によるホームページ掲載による開催」と予告し実施に至りました。

生徒研究発表会は予告どおり動画による発表を意識して作成された充実した作品が増えており、大変感心致しました。時間もさることながら、並々ならぬ努力の賜だとも思いました。製作を通して理屈を考えていく様は大変興味をそそられました。

研究を続けることはとても大切なことで、自分で選んだテーマがそうなのかはすぐには判然としませんが、とにかく追求してみるという姿勢が大切と改めて思いました。

受賞された3チームはなるほど素晴らしいと賞賛に値しますが反面、他のチームも追従が素晴らしく、もう少し内容を追求すると受賞に手が届くとも思いました。万難を排して参加された皆さんに心からお礼を申し上げたいです。

以前から言われていますが工業系高校の良いところを県民の皆さんにもっと知ってもらうにはどうしたらよいかという課題が有ります。この課題の解決の糸口が、この発表会があると思うのです。発表会に提出して頂いた要旨が「ポスターセッション」を意識して書かれていることも素晴らしいと思いましたが、各学校内での発表会には「パワーポイント」も大いに活用したと思えます。プレゼンは今やあらゆるところで行われています。どんどん発表してどしどし意見交換をしましょう。動画を意識した発表はWeb上で活用でき、大きなアピールに繋がると思えます。

かつては作品を完成させることがメインで、発表に多くの時間を費やすことが難しかったように感じていましたが、特に今年は作品を製作したり、研究した成果まとめたりした結果をどのように伝えるかにも力を入れるようになり他の人に分かりやすく伝わるようになりました。本当に感銘を受けました。

これからはWeb公開を視野に入れ、世の中にアピールすることも検討して行きたいと考えています。引き続き企業や大学・専門学校と協力し、ノウハウを御指導頂きたいと思っています。

生徒の指導をして頂いた先生方の苦勞も感じていますが、これからも更なる知識を得て生徒を導いて頂きたいと思えます。また、先生方の助けになるように会員の皆様には御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、協力して頂きました企業様研究機関様また大学等の学校様をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。